応用生物科学科評価表（２０２２年度）

１．学校(学科)の教育目標

全員進級・全員卒業を原則としながら、次の（１）～（３）の目標達成を目指す。

(1)学生全員の進路決定（社会で必要とされる人材の育成を目指す）

(2)学科・コース関連資格の取得率の向上（主要資格に関しては全員の合格を目指す）

(3)留年・退学者の抑止（特に学力不足による留年・退学者を０にする）

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

愛玩動物看護師の国家資格化に伴い、必要な情報収集を行いながら、学科開設に必要な準備対応を行う。また、卒業生に対して愛玩動物看護師国家試験に関する情報提供等のサポートを同窓会と協働しながら実施していく。バイオ（応用生物科学科）に関しては入学者増に結びつけられるように、社会で求められる人材育成という観点からバイオコースの内容も見直し、カリキュラムの改正につなげる。

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目的、人材育成

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④　３　２　１
② 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④　３　２　１
③ 教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	④　３　２　１

① 課　題

ｉ教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているが、入学前より広く周知した方が良い。

② 今後の改善方策

ｉオープンキャンパス、学校説明会、学校見学会等で参加者に周知を行う。

（２）学校運営

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか	④　３　２　１
② 運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか	④　３　２　１
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④　３　２　１
④ 人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか	④　３　２　１
⑤ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	４　③　２　１
⑥ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④　３　２　１
⑦ 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	④　３　２　１

① 課　題

ｉ毎年教育目標に反映するよう学科の運営方針、教育方針を決定しているが、教職員周知方法

を検討し目標達成への意識を高めるべきである。

ⅱ毎月実施している運営会議の情報が教職員の末端まで届いていないことがある。

ⅲコンプライアンスに関するマニュアル、制度があり、業界や地域社会の利害関係者からの意見の収集、分析、対応の仕組みができているが、その結果について自己点検は特に実施していない。

② 今後の改善方策

ⅰ年度始まりの教員会議で今年度の学科の運営方針、教育方針について討議する。

ⅱ運営会議の内容について運営会議直後の教員会議等で正確に伝達する。

ⅲ利害関係者からの苦情・要請等への対応を報告書にまとめ、その結果について自己点検を実施し、改善すべき点を明らかにする。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④　3　2　1
② 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④　3　2　1
③ 教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか	④　3　2　1
④ 講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④　3　2　1
⑤ 学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4　③　2　1
⑥ 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　3　2　1
⑦ キャリア教育を実施しているか	④　3　2　1
⑧ 成績評価･単位認定、進級･卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか	④　3　2　1
⑨ 資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか	④　3　2　1
⑩ 人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4　③　2　1
⑪ 関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか	4　③　2　1
⑫ 先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	4　③　2　1
⑬ 教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか	④　3　2　1

①課　題

ⅰカリキュラムマップが作成できていない。

ⅱ授業アンケートの集計結果をもとに、授業評価を実施していない。

ⅲ教員の養成が計画的に行われていない。

ⅳ講師間での情報共有が行えていないとの指摘が、講師からあった。

ⅴ教員の資質向上のため、全学的な教職員研修の実施が定期的に行われていない。

②今後の改善方策

ⅰ今年度中にカリキュラムマップを作成する。

ⅱ授業アンケートの集計結果をもとに、授業評価を年度末に実施する。

ⅲ教員の能力向上につながる研修への参加を促し、計画的に研修へ参加できるようにする。

ⅳ講師間での情報共有が行えるように、講師へのシラバスの配付を徹底することからはじめる。

ｖ研修を積極的に参加できるような環境作り、全学的な教職員研修の実施を促し、自らが計画的に資質を向上させる土壌を作っていく。

（４）学修成果

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 就職率の向上が図られているか	4　③　2　1
② 資格取得率の向上が図られているか	④　3　2　1
③ 入学者に対する卒業率はどうか	4　3　②　1
④ 実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか	④　3　2　1
⑤ インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか	4　③　2　1

①課　題

ｉ卒業時に就職希望者全員の就職が決定していない。

ⅱ入学して間もない早期での退学が、退学者の大多数を占める。

ⅲインターンシップ受け入れ先とのコミュニケーションが充分とはいえない。

②今後の改善方策

ｉ卒業時に就職希望者全員の就職が決定するように、様々な視点からできうる対策を行うしかない。

ⅱ全員の進級・卒業を実現するという学科の目標は堅持しつつ、学生のモチベーションを維持したり、その分野の魅力を伝えたりできるように、様々な方策を講じる。

ⅲインターンシップ受け入れ先へ提出する書類の充実を図るとともに、コミュニケーションの機会を増やす。

（５）学生支援

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか	④　3　2　1
② 学生相談に関する体制は整備されているか	④　3　2　1
③ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④　3　2　1
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④　3　2　1
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④　3　2　1
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	④　3　2　1
⑦ 保護者との連携は適切か	④　3　2　1
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	④　3　2　1
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④　3　2　1
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④　3　2　1

（６）教育環境

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	４　③　２　１
② 実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
③ 学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか	④　３　２　１
④ 図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	④　３　２　１
⑤ 防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

①課　題

施設の充実や学生が利用しやすい運用が必ずしもできているとはいえない。

②今後の改善方策

必要な実習機器を計画的に整備する。また、学生が利用しやすいように設備の運用方法を変更していく

（７）学生の受入れ募集

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	④　３　２　１
② 学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか	④　３　２　１
④ 生徒募集の効果と実績を検証しているか	４　③　２　１

①課　題

生徒募集活動に関する計画や内容の検討は年度前に行われているが、教職員全体での共有は不足している。

②今後の改善方策

当該年度の生徒募集活動に関する計画や内容についてはまとまり次第、運営会議の議案とし全教職員が共有できるように図るべきである。

（８）財務

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
③ 予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか	④　３　２　１
④ 財務について会計監査が適切に行われているか	④　３　２　１
⑤ 財務情報の公開の体制準備はできているか	④　３　２　１

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
③ 自己評価の実施と問題点改善に努めているか	４　③　２　１
④ 自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１
⑤ 学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか	④　３　２　１

① 課　題

ｉ自己評価の問題点について教職員の情報共有があまりできていないため改善が不十分である。

② 今後の改善方策

ｉ自己評価の課題について教職員会議等で共有を図り改善に努力する。

（１０）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	４　③　２　１
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１

①課　題

社会貢献・地域貢献をする、また、ボランティア活動を奨励する体制が充分に整備されているとは必ずしもいえない。

②今後の改善方策

学科においても環境整備をしていく必要性を感じるが、社会貢献・地域貢献・ボランティア活動という性質上、各学科というだけでない、全学的な体制をさらに整備していく必要性を感じるので、それを学園に働きかけていく。

救急救命学科評価表（２０２２年度）

１．学校(学科)の教育目標

（１）進級、卒業のための指導強化

・個別面談での学習、生活習慣の指導強化を行う。

・モチベーションを向上さための方策を検討し実施する。

・ITC を用いた教育効果の実証検証を行う。

（２）倫理、道徳教育の指導強化

・解剖学実習、臨床実習および病院見学実習の前後で倫理教育を行う。

・社会で通用する人材としてのモラル教育の検討

（３）国家試験対応

・３年次の国家試験対策の早期化と計画的強化を行う。

・医療基礎分野の強化（1･2 年生）を行う。

（４）進路指導の強化

・時事情報の提供と思考力、作文力の強化を行う。

・早期（１、２年時）から一般教養対策の実施。

・ボランティア活動を通じてのコミュニケーション力強化

・面接対策（２年次から３年次）外部講師による客観的評価とフィードバック。

・体力試験対策の実施。スポーツテスト、専門家による体力増進プログラムの導入

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（１）進路指導の強化　職域についての理解と将来目標の設定と達成

（２）国家試験合格率　全員卒業を目指し、国家試験合格率 100%を目指す。

（３）先端技術利活用実証研究プログラムの開発と研究（文部科学省）研究プログラムの開発

（４）whit コロナでの新生活様式の確立（感染対策等）

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目的、人材育成

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④　３　２　１
② 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④　３　２　１
③ 教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	④　３　２　１

①課　題

ｉ教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているが、入学前より広く周知した方が良い。

②今後の改善方策

ｉオープンキャンパス、学校説明会、学校見学会等で入学希望者に周知を行う。

（２）学校運営

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか	④　３　２　１

② 運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか	④　3　2　1
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④　3　2　1
④ 人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか	④　3　2　1
⑤ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　③　2　1
⑥ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④　3　2　1
⑦ 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	④　3　2　1

①課　題

ⅰ毎年教育目標に反映するよう学科の運営方針、教育方針を決定しているが、教職員周知方法を検討し目標達成への意識を高めるべきである。

ⅱ毎月実施している運営会議の情報が教職員の末端まで届いていないことがある。

ⅲコンプライアンスに関するマニュアル、制度があり、業界や地域社会の利害関係者からの意見の収集、分析、対応の仕組みができているが、その結果について自己点検は特に実施されていない。

②今後の改善方策

ⅰ年度始まりの教員会議で今年度の学科の運営方針、教育方針について討議する。

ⅱ運営会議の内容について運営会議直後の教員会議等で正確に伝達する。

ⅲ利害関係者からの苦情・要請等への対応を報告書にまとめ、その結果について自己点検を実施し、改善すべき点が明らかにする。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④　3　2　1
② 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④　3　2　1
③ 教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか	④　3　2　1
④ 講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④　3　2　1
⑤ 学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④　3　2　1
⑥ 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　3　2　1
⑦ キャリア教育を実施しているか	④　3　2　1
⑧ 成績評価･単位認定、進級･卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか	④　3　2　1
⑨ 資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか	④　3　2　1
⑩ 人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4　③　2　1
⑪ 関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか	④　3　2　1
⑫ 先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	④　3　2　1
⑬ 教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか	4　③　2　1

①課　題

職員の退職にともなう人材確保には、時間がかかる。求人要件を満たす人材確保が課題である。

②今後の改善方策

教員の退職に伴う補充が困難であるため、計画的人材確保が必要である。

（4）学修成果

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2、不適切‥1
① 就職率の向上が図られているか	④　3　2　1
② 資格取得率の向上が図られているか	④　3　2　1
③ 入学者に対する卒業率はどうか	4　③　2　1
④ 実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか	④　3　2　1
⑤ インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか	4　③　2　1

①課　題

インターンシップ制度を利用して、地方出身者は地元の消防機関での実習が出来るような体制を作っているが、自治体によってその受け入れが出来るか否かが異なる。

②今後の改善方策

各自治体に協力していただけるように、全国救急救命士教育施設協議会を通じて総務省消防庁に働きかけをしていく。

（5）学生支援

評　価　項　目	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2、不適切‥1
① 進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか	④　3　2　1
② 学生相談に関する体制は整備されているか	④　3　2　1
③ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④　3　2　1
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④　3　2　1
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④　3　2　1
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	④　3　2　1
⑦ 保護者との連携は適切か	④　3　2　1
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	④　3　2　1
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④　3　2　1
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④　3　2　1

（６）教育環境

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
② 実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
③ 学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか	④　３　２　１
④ 図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	④　３　２　１
⑤ 防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

（７）学生の受入れ募集

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	④　３　２　１
② 学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか	④　３　２　１
④ 生徒募集の効果と実績を検証しているか	４　③　２　１

①課　題

生徒募集活動に関する計画や内容の検討は年度前に行われているが、教職員全体での共有は不足している。

②今後の改善方策

当該年度の生徒募集活動に関する計画や内容についてはまとまり次第、運営会議の議案とし全教職員が共有できるように図るべきである。

（８）財務

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
③ 予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか	④　３　２　１
④ 財務について会計監査が適切に行われているか	④　３　２　１
⑤ 財務情報の公開の体制準備はできているか	④　３　２　１

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
③ 自己評価の実施と問題点改善に努めているか	４　③　２　１

④ 自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１
⑤ 学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか	④　３　２　１

①課　題

ｉ自己評価の問題点について教職員の情報共有があまりできていないため改善が不十分である。

②今後の改善方策

ｉ自己評価の課題について教職員会議等で共有を図り改善に努力する。

（１０）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④　３　２　１
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④　３　２　１

①課　題

コロナ感染症の影響で、ボランティア活動の自粛が余儀なくされたが、少しずつ再開されるようになった。学生は今までボランティア活動が皆無であったため、参加に伴う教育をいかに行うかが大切になる。

②今後の改善方策

事前事後のフィードバック体制を整え、新たにボランティア活動の情報を共有していく。